



議員改選後初の定例会

第2回定例会

合併協議会設置についての議案を可決



短冊に願いを込めて（旭保育所）

平成15年第2回定例会は、一般選挙後初めての定例会として、6月16日に開会し、市長から提案された16件の議案をすべて原案のとおり可決しました。一般質問では、7人の議員が市政全般にわたり理事者の見解をただし、23日に閉会しました。また、5月14日から2日間開催した平成15年第1回臨時会では、議長・副議長の選挙や常任・議会運営・合併問題調査特別委員の選任、監査委員選任の同意、組合議会議員の選挙などを行いました。

合併問題調査特別委員会

審議の内容

6月定例会で市長から提出された岸和田市・忠岡町合併協議会の設置についての議案は、5月臨時会で新たに設置した合併問題調査特別委員会に審査を付託した結果、満場一致で原案を可決しました。その後開かれた本会議でも、委員会同様可決しました。【問】協議会設置の議決があれば、市内4カ所くらいで今までの勉強会の経過や【答】協議会設置の議決が

うに考えているのか。【答】議論は、両委員会で同時並行的に進めてもらい、両方がうまく機能していくような運営を期待している。【問】協議会の委員構成は。【答】忠岡町と岸和田市で同人数を選出することとしている。議員は、議長、副議長を含めそれぞれ9名を、町会関係者や女性団体、社会福祉協議会などから市民代表を選出し、計50名以内で構成の予定である。【問】協議会は、合併の是非も含め自由に討論する場なのか。【答】合併の是非も含め、合併に関するすべてのことを協議する場である。【問】住民の意向を聞くための説明会を開催する予定はあるのか。【答】まちづくり計画や財政計画が出来上がった時点で、住民集会を開き、いろいろな意見を聞き、そのことを受けて市・町長が岸和田市や忠岡町の考え方を説明するなど、住民に対して情報提供を図っていきたい。【問】協議会の意思を決定する場合の表決など、運営方法はどうか。【答】第一回目の協議会で、半数以上の賛成で決定するかどうかなども含め、運営方法について委員に審議してもらう予定である。【問】両市町間における施策の違いを協議会でどのように調整していくのか。【答】例えば手数料の場

一般質問項目

- 産業高校の現状と今後について
- 中高一貫教育について
- 構造改革特区の活用について
- 有害紫外線啓発について
- 「市民自治都市」実現に向けた行政経営への取り組みについて
- 幼保一体化の中での預かり保育を視野に入れた公立幼稚園の在り方について
- 小学校の児童対応について
- 外郭団体への市の対応について
- 公用車の管理について
- 行財政改革と自治体アウトソーシングの推進について
- 外郭団体の見直しと外部

5月臨時会

4月に行われた市議会議員選挙後、初めて開かれた第1回臨時会で、正副議長選挙を行ない議長に藤浪勝三議員、副議長に大松政司議員を選出しました。続いて、議会運営委員及び総務、文教民生、事業の各常任委員、合併問題調査特別委員の選任を行い、監査委員の選任に同意しました。また、大阪府都市競艇組合や岸和田市貝塚市清掃施設組合などの各組合議会議員も選出し、15日に閉会しました。（2面に掲載）

暑中見舞状や寄附の禁止

公職選挙法により、議員による暑中見舞状や祭礼など各種行事への寄附が禁止されていますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

市民の皆様へ

市議会議員団は、選挙区内における葬儀に際し、平成15年9月1日より弔電の送付と香典などの金品の提供について、親族を除き一切行わないよう申し合わせております。市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。